



新制服ワッペン
若鳩と小野平野の稲穂がモチーフ

令和7年度 諫早市立小野中学校 学校便り 第9号

わかばと

校訓：自主・積極

学校教育目標：自他を認め、共に高め合う生徒の育成



令和7年11月4日

校長 西山 敏明

【小野中HP】



10月17日(金) 小野小・中学校合唱祭が行われました 「響かせた歌声、心の成長！ 深まる絆」

10月17日(金)、令和7年度「小野小・中学校合唱祭」を本校体育館にて盛大に開催いたしました。小学校4年生と中学校全学級生徒が参加し、6年生のみなさんも招待し、鑑賞してもらいました。多くの保護者・地域の皆様にご来場いただき、児童生徒たちに温かいまなざしと拍手を送っていただきましたおかげで、小中連携を深める感動的な一日となりました。

熱意と成長を見せた各学年

- 4年生：明るく楽しく、リズムに乗った元気な歌声を、中学校の体育館に響かせてくれました。初めて中学校のステージに立ったとは思えない、堂々とした素晴らしい合唱でした。
 - 1年生：初めての中学校合唱祭。練習で苦戦したものの、リハーサルで上級生の姿に触発され、最後の1週間で見違えるほどの成長を見せました。本番では練習の成果を発揮し、合唱をやりきりました。
 - 2年生：中堅学年としてリーダーが中心となり積極的に練習に取り組み、学級の団結を感じさせる力強く安定した歌声を披露し、会場を魅了しました。
 - 3年生：最上級生としての立派な姿勢、男女のバランスが取れた高いレベルの合唱は、聴衆に深い感動をもたらしました。中学校の伝統と誇りを後輩たちに示してくれました。
- 1・2年生は、3年生が残してくれた伝統を受け継ぎ、一人ひとりが、自分に自信を持ち、心の底から気持ちよく歌えるような、友人間の関わり、学級の雰囲気をつくってほしいと願っています。この合唱祭が、小野中学校の良き伝統として、さらに素晴らしく受け継がれていくことを期待しています。



4年生『こころ天気になあれ』



1年2組『大切なもの』



1年1組『空は今』



2年2組『旅立ちの時』



2年1組『COSMOS』



3年1組『YELL』



音楽部『れんげ草・さくらと手鞠』



6年生、保護者、地域

10月22日(水) 感動を呼ぶ歌声！ 諫早市音楽会での3年生の活躍

諫早文化会館大ホール。この日、3年生は、小野小中学校合唱祭で心を一つにした「いきものがかり」の名曲「YELL」を、堂々と歌い上げました。小野中は、午前の部に参加した市内14中学校8校の中で、生徒数では決して大人数とは言えない4番目の規模でしたが、その歌声は、人数に関係なく会場全体を魅了しました。

諫早文化会館の大ホールに響き渡ったのは、他校に決して引けを取らない、魂のこもった圧巻の歌声でした。生徒たちがこの日のために重ねた努力、仲間との絆、そして一音一音に込められた想い、磨き上げられたハーモニーが、聴く人すべての胸を打ちました。

また、各校の合唱に加え、箏曲部や吹奏楽部の生演奏も、会場に豊かな彩りを添えました。同じ中学生が奏でる、力強くも繊細な音色を肌で感じ、互いの情熱を分かち合う、忘れられない、充実した時間となりました。



生徒集会での確認 制服(セーター・ベスト)着用 SNSの適切な使用について

10月31日(金)に生徒会集会が行われました。生徒集会では、生活委員会から制服(冬服)の着用について確認がありました。1、2年生は新制服となっていますが、いくつか確認があった中で、特に以下の点について再徹底のお願いがありました。

【ベストやセーターは、あくまでも防寒としての着用なので、登下校時は、上着(ジャケット)の中(内側)に着用する。ベスト、セーターが一番上にくるような着方はしない】

生徒の皆さんは、学校の全体のルールを守り、気持ちの良い着こなしを心がけましょう。

続いて、生徒指導面の注意として、生徒指導主事の田中教諭から「**情報メディアやSNSの適切な使用について**」の講話がありました。

インターネットやSNSの世界には、誹謗中傷、いじめ、使い過ぎ、依存症、プライバシーの侵害・個人情報の流出、アカウントの乗っ取りや詐欺被害など、多くの危険性が潜んでいます。

情報メディアは、現在においても、今後の生活や社会の中でも、なくてはならないものです。自分や周りの人を不幸にするのではなく、安心・安全で豊かな生活を送るために「情報モラル(道德、倫理)」「情報リテラシー(適切に活用できる力)」をもって賢く使用していきましょう。

ネットニュースに、次のような内容の記事が掲載されていました。

情報メディアの適切な使用という点で、近年被害が急増している「セクストーション(性的脅迫)」の危険性について、生徒の皆さん、保護者の皆様にお伝えしておきたい内容です。その概要を紹介します。

「うちは男だから大丈夫」ではない。日本はリスク世界1位、10代で被害急増の「セクストーション(性的脅迫)」とは

セクストーションとは「Sex(性的)」と「Extortion(ゆすり・脅迫)」を組み合わせた造語で、性的脅迫を意味します。特に金銭を目的とした被害が増加しており、15歳から18歳の相談が急増し、日本のリスクは世界一とも言われているそうです。

1. セクストーションの主な手口

金銭型のセクストーションでは、SNSなどで加害者が異性になりすまして近づき、親しくなったのちに性的な画像や動画を送るように要求します。被害者が送ると態度を急変させ、「**拡散されたくなければ金銭を支払え**」と脅します。また、不正なアプリをインストールさせて連絡先データを抜き取り、「知り合いに拡散する」と脅す手口やビデオ通話中に裸を見せしまい撮影される事例も報告されています。

2. 被害にあわないために

誰もが被害に遭う可能性があります。「うちは男だから大丈夫」という考えは通用しません。

- ・ネットで知り合った人とはやり取りをしないこと。
- ・自分のプライベートゾーンを撮影しないこと。
- ・SNSへのアップやメッセージで安易に画像を送らないこと。
- ・相手に求められても、怪しいアプリは決してインストールしないこと。



3. 被害にあったら

もし、万が一被害にあったら

- ・決して一人で抱え込まず、すぐに保護者や学校、警察に相談する。相手とのやり取りをスクリーンショットに保存し、証拠として残すこと。
- ・金銭や、さらなる性的コンテンツの要求には絶対に応じないこと。(要求に応じても脅しは終わらない)
- ・すぐに相手をブロックし、連絡ツールを遮断すること。
- ・性的な画像や動画を要求している相手が犯罪者です。「あなたは悪くない」ということを理解し、勇気をもって助けを求めてください。

保護者の皆様へのお願い

日頃から「SNSの不正な利用」「闇バイトへの誘惑」「セクストーション」の危険性について、親子で話し合い、その危険性を知っておくこと。ペアレンタルコントロール機能(iOS(iPhone/iPad):「スクリーンタイム」Android:「ファミリーリンク」(Googleが提供)や「Digital Wellbeing(デジタル ウェルビーイング)と保護者による使用制限」)を活用し、お子様のアプリ利用状況を見守ること。普段から、何でも話しやすい親子関係を築き、お子様の異変にいち早く気づけるようにしてください。ご家庭と学校が連携し、子どもたちが情報社会を安全で豊かに生き抜く力を育てていきたいと考えています。